なかさと

毎月一回15日
定価 1部 5円
発行所
中里村公民館

現在人口

男	4,225
女	4,405
計	8,630
世帯数	1,718

—村議会第二回定例会—

助役、収入役を選任

中里村議会第二回定例会は、去る五月二十七日招集され会期一日の日程で、助役、収入役の選任、中里村税条例の一部改正、農作物共済金額の選択、昭和四十年度無事もどし金交付額について、四十年度一般会計補正予算などのほか、請願審査報告七件、役場庁舎建設、酒津川開発基本調査など協議題二件を審議し、午後六時過ぎ閉会した。付議事件の主な内容は次の通り。

▽助役、収入役人事

助役については、三十七年から空席となっていたが、今回、広田富左衛門氏（千滝）が収入役から助役に、また、村議会議員藤田宇一氏（宮中）が議員を辞任して新収入役に、それぞれ任命することについては村議会の同意が求められたもので、多数の賛成をもって選任された。

なお、両氏は五月二十八日付で任命された。

▽中里村税条例の一部改正

本年度から市町村民税について、全国一斉に本文方式を採用することになったが、これは市町村の格差を是正するための処置であり、本村の税率は十五万円以下の金額百分の二・六から（中間の段階区分略す）五千万円をこえる金額百分の十八・二に改正された。なお、障害者等の非課税の範囲が二十万円から二十二万円に引き上げられ、法人税割の税率が百分の九・七から百分の十・一に、軽自動車のうち四輪乗用車が三千百五十円に改正された。

▽農作物共済金額の選択

今年の水稲、春蚕、夏秋蚕繭に対する村が支払う共済金の基準をきめたもので、水稲については、共済引受高の減収分に対し、一㌶当り六十円、春蚕、夏秋蚕繭はそれぞれ一箱当り五千円ときまった。これは、他市町村にならべほぼ同額である。

また、四十年度無事もどし金交付額については、農作物等が三年間無事故の場合、一年分の共済掛金を組合員に払いもどすことになっているが、但し共済事業の剰余金等の額によって無事もどし金交付額をきめることになっており、今年度は水稲において六十五・五四%、繭蚕十四万六百五十七円（該当組合員数四百二十六名）蚕繭は、百%繭四万九千百四十七円（該当組合員数四百一名）となっている。

▽請願審査報告

去る三月村議会で常任委員会に付託された請願の審査結果が各委員長から報告された。請願件名等次のとおり。

❶中里村養魚組合活魚輸送用設備費の助成について（採択）
❷蚕種事業運営費助成について（採択）
❸製炭事業合理化のための機械導入助成について（継続審議）
❹荒居公民館備品購入並びに改造助成について（不採択）
❺倉俣中学校教室増築と便所移築について（継続審議）
❻倉俣小学校隣接旧倉庫改築について（継続審議）
❼たかば スキー場開設について（採択）

▽一般会計補正予算

繰越百二十七万六千円で内訳は、▽一般管理費百一万八千円（退職手当組合負担金）▽参議院議員選挙費二十八万七千円▽教育総務費十二万四千円（十日町実高建築費負担金）などが主な追加補正で、予備費三十万円が減額補正された。

御挨拶

中里村助役　広田富左衛門

不肖、このたび中里村助役に任命され、身に過ぎる大任であると同時に、その重責を感じながら非才の身をも省みずに、去る五月二十八日付、就任いたしました。もとより微力ありますが、村長のよき御指導を得て、また村議会はじめ村民各位の御鞭撻をいただきまして職務に献身する覚悟であります。どうぞよろしくお願い申しあげます。

顧みますと、昭和二十九年山沢村収入役に任命され、翌三十年中里村発足とともにひきつづき収入役をおせつかり、今日まで十二年間に亘り大役を勤めさせていただきました。この間、合併間もない当時の財政事情をきりぬけ、新村建設に向って諸大事業の遂行と、近年にいたっては産業経済成長、社会情勢の変化等により財政の年々増こうする中で、大過なく勤めさせていただきましたことは皆様の御協力のたまものと感謝に堪えません。なかんずく、田沢中体育館建設にあたって村内外多数の方々の特段の御支援と御協力をいただきましたことは忘れ得ぬ御厚情と、収入役を辞任するにあたり紙上をかりまして厚く御礼申しあげます。こんど新進気鋭の藤田宇一氏が収入役に就任されましたので、より健全財政なる財政運営が期待され、御同慶でございます。

申すまでもなく村政の課題は中里村将来の発展を左右する重要問題が山積いたしております。村当局、議会、村民各位諸様と一体となって和合協力、真に豊かな村づくりを推進いたしたく存じております。愚愚に職打ち誠心誠意大任を果したくここに就任の御挨拶といたします。

就任の御挨拶

中里村収入役　藤田宇一

本年はとくに霜消えが遅れ、皆様には農作業その他御多忙にお過ごしのことと存じます。

去る五月二十七日の定例村議会において、広田富左衛門氏が助役に選任され、その後任として藤田宇一氏が選ばれ、同日村議会議員を辞任し、五月二十八日付就任いたしました。

顧みますと、昭和二十七年、貝野村教育委員及び、村議会議員に推挙され、以来町村合併により貝野村開村と同時に、新中里村議会議員となり、新村建設や各種計画、事業その他懸案事項の山積した中において、皆様の御期待に充分そうことができず申し訳なく存じておりますが公私共に御指導、御協力を頂きおかげ様で大過なく勤めることができ、誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。

前任広田富左衛門氏は収入役として十数年の長い間の貴かな経験を生かされ、今後の村政に大いに活躍を御期待申し上げる次第であります。

申すまでもなく、自治体運営の近代化と地方財政の充実は今後なお大きな課題と思いますが若輩の上、不勉強でその器ではありませんが幸い手腕、力量と経験豊富な村長を中心とし、職員一体となり村民の皆様のより一層の御鞭撻と御支援を頂き、及ばずながら中里村発展のため心を新たに勤めさせていただく所存でございますので、何卒よろしく御願い申し上げ、御挨拶といたします。

水と民族性

齋藤大馨

水と人間の関係はとくに深くしかもたいへん微妙なものがある。東京のように急に人口が過剰になると、忽ち水飢饉になるのも困るが、水道設備には手間がかかったりして、なかなか思うようにはならない。四年前の中共のように、カンバツと水害が同時的に重なると、二三年来の農業の不作をもたらすようになる。多すぎても少なすぎても困るのが水である。ことしの梅雨は例年より早いようであり春以来の異常気候で先々が心配だ。既につゆのはしりともいわれる台風六号の影響で各地で被害を出している。死者、行方不明や負傷者多数を出し、山崩れで七ヘ死亡、長野県ではふもとの民家が四戸六むねも全壊、又東海道新幹線、並びに各ダイヤを乱し、路盤が沈下したり築堤がくずれたり早くも到るところに被害が続出している。是みな水に関係して居る。受災者に対しては、まことに気の毒の限りである。

海の台風禍につづいて、陸の暴雨禍が跡をたたぬのは日本の国土の先天的運命でもある。これらの被害を、最少限に食い止めるには国家予算をうんと注ぎこんで、安全な国土造成をやる以外には方法があるまいと思う時と金とがかかるが治山治水対策を根本的にやり直す必要がある。

日本が高い山をたくさんもってることも、水害の大きな原因である。同時に世界有数の多雨国である。ことも、これが手伝っている。山地七割以上といわれるほど山が多い。しかも険しいのだから、地図の上で見たよりも面積は広い。老人の顔のシワをのばせば、顔の面積がひろがるのと同じである。それだけに多少多く人口を養える利点もある。しかし、山が峻しいために小地域に分れているから、割合対立的な排他性を持ちやすい。だから三百諸侯といわれた多数封建領主の時代が長くつづいた。

それに川は急流が多く、流が到るところにかかっている。流が急転直下している姿を日本人は好む。そのほとりに諸神を祀り修行場にしたりする。これも風土と人間との交渉関係の一面である。滝が急転直下するのを少く短慮性急にしたとも考えられる。

活動が機敏でよいとの利点とともに、急きすぎて失敗する欠点をも兼ね具えている。前後を考えずに盲進すると、敗戦をひき起こしたりして、大きな不利を蒙ることになる。思想や生活や政治でも、旅行を過ってただ急流のように流されてゆく民族性も出てくる。とかくかたよった我執をもって進むから、時にひどい人的災害を受けることもある。風わくばもっと熟慮して、テンポを緩めて進むようにしたい。

イギリスは同じ島国だが、そこには山地が少ない。したがって急流もあまりないそうだ。テームズ河などは、じつにゆったりと流れているとか。そんな落ちつきが、英国民の気質をつくる原因にもなっているらしい。大きく良識にしたがって生きてゆく、大国民の性情を作っているようである。だんだん世界的になってきた日本の生活でもこれからそんなところを見習ってゆきたい。日本ではほどよい中道を選ぶとの考え方が、少こしむずかしかったと思う。

戦前の考え方も偏見の塊のようなところがあったが、戦後の自由主義も、むしろ反対極に移って、エゴイズムと表裏一体になっている。適応なヒューマニズムの上に立った真の自由がまだよく身についていない。急流的山河の影響で養われた日本人には、中道をゆく穏健中正な考え方が、なかなかとりにくいようだ。

不安的な急流的性格を捨てて大局的規性的に生きてゆくようにするためには、仏教の中道主義をもっと国民のなかに浸透させる必要がある。有限者たる人間には、一気に絶対的なものは考られにくいが、ただ相対的な改善を積みかさね、絶対的なものに一歩でも近づく方法しかない。

震災復興清掃月間!!

震災後の「きれいな町にもどす運動」の実施について、生活環境浄化実践四ヵ年計画による二年目を迎え、それぞれ市町村あげて実施されていますが、六月十六日新潟地震の一周年記念行事として、震災復興清掃月間を県内全市町村が呼応設定することになりました。当村では次のことにつき実施徹底を図ることとしましたので、村民全員の御理解と御協力を御願いします。

1、大掃除の実施

◎家屋内外の大掃除、下水、側溝の清掃と整備改修等を村ぐるみで行なうこと。

◎部落毎に「一斉清掃日」を設け効果的に実施する。

◎特に春の大掃除を実施していない家においては必ず実施すること。

2、汚物の不法投棄の防止

◎川、沼、堤、道路等にゴミ等の汚物を捨てないよう各自良く自覚し徹底すること。

ごきぶり駆除法

ごきぶりは台所、ゴミ箱、便所を往復しはなはだ不潔な動物です。

※殺生剤対策と駆除

◎台所の厨房入れは完全なフタを取り付けること（ごきぶりはせまいすき間でも入る）又ダストシュートの中はごきぶりの孵化場であるから注意する。

◎排水穴、アク板、ねずみ穴などから侵入するからよくふさぐこと。

◎台所の床の隅壁の接する角にゴキブリ用の殺虫剤を三ヶ所巾位に帯状に塗っておく。又食器棚の床や厨房箱全体に殺虫剤を塗っておくのもよい方法である。

（役場社会厚生課）

火生住来

◎麓園

氏名	年令	住所
子のなまえ	父の名	部落名
小林 武司	勲	西方
服部 建子	建三	東出沢
吉桑 正人	浩	上山
藤田真智子	福太郎	本籍地
南雲 安美	利昭	瓜地

◎鳥砂

氏名	年令	住所
南雲	四三(三四)	程島
桃田みつる(三四)		東京
新郎 千原 正平(三九)		上山
新婦 千原 紀子(三九)		上山
新郎 阿部徳次郎(三八)		本籍地
新婦 村山 弘子(三二)		東出沢
新郎 清滝 正孝(三七)		東出沢
新婦 鈴木 則子(三三)		下山
新郎 南雲 嘉雄(三六)		程島
新婦 庭野サチ子(三二)		十日町
新郎 横切 五郎(三七)		芋沢
新婦 庭野 フミ(三五)		十日町
新郎 松崎 栄作(三五)		小原
新婦 松崎 ヒデ(三〇)		小原
新郎 山本 輝雄(三六)		種沢
新婦 舟羽 治子(二八)		千葉県
新郎 田村 進(三七)		小出
新婦 山本シゲヨ(三四)		小出
新郎 鈴木 順平(三七)		瓜地
新婦 瀬切チイ子(三二)		建南町
桑原 文蔵		
根津房太郎		
高橋 稔		
志田 トメ		
桑原 徳重		
村山 嘉平		
田沢		
芋川		
倉俣		
倉俣		
牧畑		
田代		
倉俣		

なかさと文芸

〔俳句〕

峡のバス独居の香り持ちて街に着く　大泉

畦路めぼ動くゆるみ田カト生る　えつお

太鼓の植枠しずかに田を刻む街あかり誘う耕牛の眠の疲れ　露丘

梅雨の穂尖りて重き農衣脱ぐ　玉泉

畦端の秧にも稔りの意をこめて　梢陽

嘶りを孤独にききし畑の小屋　玄田

通学の制服今朝は清々し　直春

箱に腰かけて苗とる翁かな　正

貰い風呂帰り背の児と遠蛙　義雄

残照を映せる雲やトカの群　正光

草矢飛ぶ幼き夢を果し得ず　土牛

校庭の緑陰に乙女等汗拭う

〔短歌〕

川原の石を背にして仰ぎ見る若葉の梢えに白き月かも　山崎了

久し振り友とかわす杯は世間話を肴にして飲む　羽鳥正雄

さざ波は遠くなりても聞えけり夜風にふれる一人旅かな

今年の天候とこれからの稲の手入れ

春先からの天候不順のため、雪消えが予想外に遅れ、五月上旬まで低温が続き、今年の苗代はどうなることかと心配されたが、幸いにその後の天候は比較的よく、極く山間地以外は、田植えも終ったものと思われる。

いつもの年なら、これで今年も安心――というところだが、今年は、秋まで細かに気をくばらないと、思わぬところで逆転負けになりそうで心配だ。というのは、今年は、気象の変化が大きいという予想がされているから――。

五月末に新潟地方気象台から出された、六～八月までの三ヵ月予報をみると、この心配が大きい。

気象台の発表によれば、この期間は、上空の寒気が南に偏るため天候が不安定で雨が降りやすくなったり低温になる期間があるみこみといっている。

各月についてみると、六月は月はじめから梅雨天候に入り、低温が続くみこみ。七月は、下旬までに梅雨があがらないため、低温、多雨日照は少ないみこみ。八月は大体平年並みとみこまれるが、北日本では天候の変動が大きく、一時的に多雨、低温がみこまれる。更に、長期予報によれば、秋に早くくると発表されている。この期間の天候は一口でいえば、不順と予想ができよう。

それでは、こんな年の天候は稲にはどんな影響があらわれるか、また、それに対してどんな手入れをしていったらよいか考えてみたい。

まず、梅雨期間が長くなるため、分けつのでかたや、伸びが悪く、全体として、稲の元気は余りよくない姿となることが予想される。また、日照が不足するため、稲は軟かできになり、体内にチッソが残るのでイモチ病にかかりやすくなることが予想される。こんなかっこうで育っている稲が、梅雨明け間近かのムシあつい天候にあうと、葉イモチ病が多発し、秋の低温とまって、首イモチ病、倒伏の多発が予想される。したがって、こんな年には、何といっても、稲をミバのよい大型のものに育ててはいけないことが考えられる。

❶ 追肥。稲の元気の悪さを追肥で補なうと必ず後でマイナスとなる。だから、中間での追肥はつつしむこと。

❷ 中耕除草。六月半ば以後の田植え、または湿田では、活着したら、直ぐ中耕除草をやって稲に元気をつけてやること。

❸ 病害虫防除。殊にイモチ病の発生に注意し、早めにみつけて防除すること。要は、今年の不順天候にうちかつには、できるだけ稲を小形に育て、葉が繁りあわないようにして、少ない日照を充分利用してゆくことが、今年の作柄安定のキメ手ではないかと想像される。

（津南地区農業改善普及所）

明るく正しい選挙

話しあいの話題 (4)

5代表者の選び方

▽代表者を選ぶ機会はたくさんある

私たちの日常生活で、代表者をみんなで選ばねばならない機会は、たくさんあります。身近かなところでは、PTAの役員や町内の自治長などの選出がありましょうし、また、地方の首長、国会議員など公職の選挙もその中にふくまれます。これらの代表者を、私たちは、どのような方法で選べばよいのでしょう。

▽選挙で選ぶ適任者

私たちは、代表者を選ぶ場合に、選挙という方法をとります。この選挙という方法は、それぞれの人が、代表者としてだれが適任であるかの意思をあきらかにし、多数の人によって選出された人が、もっとも適任な代表であるとするものです。もちろん、ほんとうに適当な人は別にいるかもしれませんけれども、民主主義の多数決の原理は多数の意見がより正しいであろうと推定するわけで、すくなくとも非常に不適当な人が選ばれることは、この方法によって防げるという利点をもっているのです。

こういうわけですから、選挙するときにもっとも基本的に大切なことは、それぞれの人が自分で考えて、自分の責任においてだれが最適任であるかをきめるということです。義理、人情というような私的な理由によって、自己の意思をまげたり、他人のいうことに付和雷同したりすることは、民主主義の原則を根底からなげてしまうことといわねばなりません。

▽他人まかせをやめて

このように、選挙というものをみんなが真剣に考えれば、それとともに、その代表者によって運営される事柄には、おのずから関心がもたれ、親近感がわいてくるでしょう。他人まかせでは、いつになっても自分たちと密接なものにはならず、一部の人たちに利用されることになってしまうとおもわれます。

PTAや町内の自治会という身近かなところに何が起り、何が問題となっているかを知ること、考えることは、さほどむずかしくないはずです。そこからでも私たちは、私たちの視野を政治という面にひろげていくことができるでしょう。

▽政治と選挙との結びつきを考えよう

私たちは、選挙についても、また政治についても、関心はそれほどうすくありません。しかし、その関心の持ち方がバラバラで、内容が一貫性をもたないところに問題があるようです。選挙の結果と、税金の使い途と、政治のあり方とが、どこで、どのようにむすびついているかについてもいま一度よく考えるだけでも、選挙について考え方が、また一歩、すすむのではないでしょうか。（以下次号）

―7月4日―参議院議員選挙投票日

参議院議員通常選挙は三年毎に行なわれ、議員の半数が任期満了となって来る七月四日に投票によって選ばれるわけです。

参議院議員選挙はこれまでほかの選挙にくらべて投票率が低いといわれています。選挙区が広いとか、身近な選挙でないとか、いろ～いわれますが、参議院は国会の良識の府としてその役割の重要性を考え、国民として投票に対する義務の認識を新たにして、明るく正しい選挙を実現しましょう。

七月四日、投票のできる時間は午前七時から午後六時までです。（投票所によっては閉鎖時間が繰り上がりますのでご注意下さい。）普段着、野良着のままでけっこうです。忙しいことでしょうが少しの時間をさいて投票するようおねがいします。

自分が投票しなくともだれかが投票するだろうとか、忙しいからと棄権することは主権者として政治に参加する大切な権利を自ら捨てることになります。七月四日の投票日には、国民が政治の主人公であるという高い誇りと深い識見をもって、正しい責任ある一票を投じましょう。

ツユどきの郵便物

――お願い――

暦の上での「入梅」は六月十一日。ツユあけは七月二十日頃でツユの期間が長いといわれています。ツユどきになりますと湿気のために郵便物のあて名が読みにくくなったり、消えてわからなくなったりしがちです。ツユどきに郵便を出されるときはぜひ次のことにご注意ください。

▽郵便物が多少ぬれても、あて名がにじんだりインキが散ったりしないように書いて下さい。インキは普通のインキよりもボールペン（油性インキ）で書いたほうがいいようです。

▽封筒は湿気で破れないようなじょうぶなものを使って下さい。やわらかい和紙の封筒よりも堅い紙のほうがじょうぶです。

▽『速達』の表示が本年五月から上部に赤線を引くことに統一されました。速達を出すときは郵便物の上部に赤線を引いて下さい。（越後田沢郵便局）

成人式期日の変更

7月11日に

公民館では、きたる七月四日に成人式を開く予定でしたが、参議院議員選挙投票日となりましたので、七月十一日午前九時から田沢小学校で開くことにしました。なお、成人講座は六月二十日から五回おこないます。詳細は直接対象者にお知らせしますので、揃って参加してください。

第一回県民スポーツの日

郡市駅伝、卓球、排球大会

排球第二位、卓球第三位

去る六月六日"第一回県民スポーツの日"の行事が、中央会場となった柏崎市をはじめ県下十六地区で、体操、陸上競技、各種球技大会など約三万人の県民が参加して盛大におこなわれました。

この行事は昨年の新潟国体の栄光を記念し、県民の間にスポーツへの関心をたかめ、今年から六月第一日曜日を"県民スポーツの日"と定めて、県と各郡市町村の主催で実施されたもので、中魚十日町地区では、中里、津南、川西、十日町の四市町村対抗駅伝大会、排球大会、卓球大会をおこないました。季節柄、農繁期でもあり梅雨空も心配されたが、さわやかに晴れ上った絶好なスポーツ日和にめぐまれ、各種目とも多数の選手が参加しわが村わが町の栄誉をになって激しい熱戦がくりひろげられました。

まず駅伝大会には各市町村一チームずつ八チームが参加し、正午津南町中津橋上を出発、各チーム十代から五十代までの十名の選手により郡市内を継走し十日町市役所前決勝点まで全長約四十㌔のコースを全チームが完走し結果は次のとおりですがわが中里村チームは惜しくも七位、八位にとどまりました。

▽駅伝大会成績

❶津南町A2時間14分46秒❷十日町B❸十日町A❹川西A❺津南B❻川西B❼中里A2時間28分21秒（田村健、樋口秀雄、大清作、鈴木卓郎、高野二郎、宮井一男、江口清信、中島晋一、上原福太郎、広田富左衛門）❽中里B2時間32分51秒（富井三千男、山田直義、服部守、鈴木慶彦、村山韶平、保坂新造、山木達雄、樋口厚、中島優一、吉田大吉）

次に、排球大会は午前十時より十日町市民体育館で開かれ、AB八チームそれぞれトーナメントで試合が行なわれ、中里村Bチームが善戦し第二位となりました。

▽排球大会成績

❶十日町A❷中里B（柳則子、滝沢朝子、樋口一枝、樋口信子、竹之内静江、大島敏、広田紀元、村山悦夫、小池啓治）❸川西B、津南A

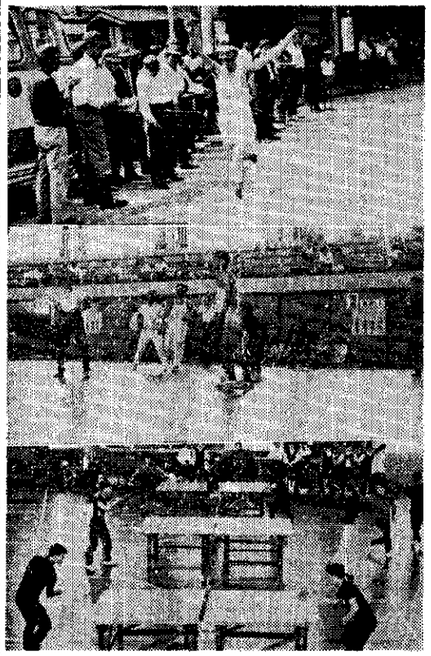
なお、中里Aチーム（草川スズイ、大口栄子、鍋田洋子、佐佐木淳子、小熊ハツヨ、南雲正敏、斎藤繁蘭、井ノ川福一、伊藤厳、中村昭）は惜しくも入賞を逸した。

卓球大会は、川西中学校体育館で開かれ、中里村Aチーム、Bチームそれぞれ入賞善戦しました。

▽卓球大会成績

❶十日市A❷川西A❸中里A（服部貞男、山田スマ子、樋口亀寿、三五忠彦、斎機憲治、井ノ川ハツヨ、広田真蓉）同十日町B❹中里B（岡村小夜子、井ノ川由延、井ノ川洋一郎、藤田博、柳栄作、阿部義子、樋口マサミ、貝沼正雄）

【写真はスポーツの日大会の一コマ（上）駅伝（中）排球 卓球】



献血申込み受付

皆さんの中には、大怪我や手術で家族、親類あるいは友人の方々から輸血をして貰ったり、又反対にこれ等の方々の輸血のために、自分の血液を提供された方もおられると思いますし、なかには血液を買って輸血を受けた方、又保存血液という瓶に入った血液によって輸血を受けた方もおられると思います。

さて、この保存血液が最近どんどん輸血に使われるようになって参りましたが、それは保存血液が取り扱いや、使用方法が安全で便利なものですから輸血になくてはならないものとなってきたからです。ところが近頃血液が不足であるとか、血液の質が悪くなったとか言われており、もし良質の保存血液が充分に供給できないようでは大変な不幸を招くことになります。そこで日赤県支部では昨年度「新潟県赤十字血液センター」を建設、センターには移動採血車（ゆうあい号）を備え、三十名以上の申し込みがあった場合は出動することになっております。婦人会、青年団、事業所等団体にて献血を希望される場合等すべて役場社会厚生課、日赤係及び衛生係で受付けておりますので、みなさまの御理解と多数の申し込みをお待ちしております。

（日赤中里分区）

出稼ぎされるみなさんへ

農閑期を利用して出稼される人達が非常に多くなっておりますが、最近これら出稼ぎについて、いろ～問題事例が発生し、新聞、テレビ等で報道されていることは皆さんご承知のとおりであります。

このたび、新潟県においてはこれら出稼ぎにかかる諸問題の解決と適正な就労を促進する目的で新潟県出稼ぎ対策委員会を設置いたしました。これに伴い中里村においても、五月一日より「中里村出稼ぎ職業相談所」を社会厚生課内に設置し、出稼ぎ者に対する総合的な相談に応するとともに、必要により安定所職員が出張し就労の不安、留守家族の心配等をなくして皆さんが安心して出稼ぎ出来るよう相談を受けることになっております。

出稼ぎについていつも問題のおこるのは縁故による就職、友達の紹介或は黙って出稼ぎする人達に多くあり、正式な職業安定機関の紹介を受けないで行く人に多くみられますので、今後出稼ぎする際には必ず「中里村出稼ぎ相談所」または職業安定所に申し込んで、正当な手続きにより心配のないようにして出かけるようにして下さい。

出稼ぎ相談所、安定所を通じ出稼ぎする人には「就労手帳」をお渡しいたします。この中には出稼ぎ中におこる事例、関係官庁名、その他よく知っていなければならない注意事項等が記されており、何かと便利なものであり、又これは帰郷して安定所に求職申し入れる際にも、いろいろ便利であります。皆さんの近所にも出稼ぎされる人達が沢山いると思いますが、出稼ぎ職業相談所のことを是非周知されるとともに、心配なく明るい気持で出稼ぎできるようにして下さい。（社会厚生課）

新大附属病院

保険給付取扱い

みなさんが新潟大学付属病院で診察をしていただくときには窓口で全額支払っており、大変不便をかけましたが、今度七月一日より保険療養取扱いが実施されますので、かならず被保険者証をお忘れなく持参下さい。なお当分の間はいろ～の関係で一部負担金（窓口支払い分）は、世帯員にかぎり五割を支払っていただき、残りの二割分は差額支給ということで役場より払戻しされます。

この取扱い実施により、みなさんが新大で診察を受けられる場合の窓口支払い額は、世帯主の三割、世帯員五割となるものです。不明の点はお問合せ下さい。（役場口保係）